

Windows向けCitrix Workspaceアプリについて

Windows向けCitrix Workspaceアプリは、Citrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaS (旧 Citrix Virtual Apps and Desktopsサービス) を使用して、リモートクライアントデバイスからアプリケーションとデスクトップへのアクセスを提供します。citrix-workspace-appは、デスクトップ、スタートメニュー、Citrix Workspaceユーザーインターフェイス、またはWebブラウザーなど、いくつかの場所からアクセスできます。

ドメイン参加済みおよび非ドメイン参加のPC、タブレット、シンクライアントでcitrix-workspace-appを使用できます。citrix-workspace-appとStoreFrontを使用すると、組織はアプリケーションとデスクトップへのセルフサービスアクセスを提供できます。このアプリは、エンドポイントデバイスのハードウェア、オペレーティングシステム (32ビット版および64ビット版)、またはフォームファクターに関係なく、共通のユーザーインターフェイスを共有します。

アカウントを追加またはサーバーを切り替える

管理者からアカウントの追加または別のCitrix Gatewayの使用を求められた場合は、次の手順に従ってください。

注:

アカウントの追加またはサーバーの切り替えオプションは、ストアを構成している場合にのみ利用できます。詳細については、「[ストアの構成](#)」を参照してください。

citrix-workspace-appアカウントを追加するには

1. citrix-workspace-appのホームページで、下矢印をクリックし、**アカウント**を選択します。
2. **アカウントの追加または削除**ダイアログで、**追加**を選択し、管理者から提供された情報を入力します。

別のCitrix Gatewayを使用するには

組織では、Citrix Gatewayを使用してIDを検証する場合があります。

1. システムトレイのcitrix-workspace-appアイコンを右クリックします。
2. **高度な設定 > NetScaler Gateway設定**に移動します。
3. **接続**ドロップダウンメニューからサーバーを選択します。
4. サーバーに接続するためのログイン詳細を入力します。

注:

NetScaler Gateway設定オプションは、ストアの構成によって表示されます。

Citrix Workspaceアプリの理解

顧客体験向上プログラム (CEIP)

Citrix WorkspaceアプリのCitrix顧客体験向上プログラム (CEIP) とは?

Citrix顧客体験向上プログラム (CEIP) は、Citrix Workspaceアプリから構成データと使用状況データを収集し、Citrix Analyticsに自動的に送信します。このデータにより、CitrixはCitrix Workspaceアプリのパフォーマンスを分析し、品質、機能、パフォーマンスを向上させ、製品開発のためのリソース配分を最適化し、効果的な人員配置とインフラ投資を通じてサービスレベルをサポートすることができます。

すべてのデータは集計形式でのみ使用および分析され、個々のユーザーやデバイスが特定されたり、具体的に分析されたりすることはありません。CitrixはCEIPを通じて個人を特定できる情報 (PII) を収集することではなく、すべてのデータ収集は関連する業界のデータプライバシーおよびセキュリティ標準に準拠しています。

CEIPデータの収集に使用されるツール

Windows向けCitrix Workspaceアプリは、Citrix Analyticsを使用してCEIPデータを収集します。

収集されるデータ

Google AnalyticsおよびCitrix Analyticsによって収集される特定のCEIPデータ要素は次のとおりです。

オペレーティングシステムのバージョン*	citrix-workspace-appのバージョン*	認証構成	シトリックスワークスペース アプリの言語
セッション起動方法	接続エラー	接続プロトコル	VDA情報
インストーラー構成	インストーラーの状態	クライアントのキーボードレイアウト	ストア構成

自動更新設定	コネクションセンターの使用状況	アプリ保護構成	オフラインバナーの理由
デバイスモデルまたはプロパティ	Citrix Virtual Apps and Desktopsセッション起動ステータス	仮想アプリ/デスクトップ名	自動更新ステータス
接続リース詳細	StoreFrontからWorkspace URLへの移行機能の使用状況	Citrix Enterprise Browser の使用状況	自動更新チャンネル
非アクティブタイムアウトの詳細	Citrix Enterprise Browser のバージョン		

CEIPデータはどのユーザーから収集されるか？

Citrix Workspaceアプリは、ユーザーからカスタマーエクスペリエンス向上プログラム（CEIP）データを収集します。Citrix Analyticsを介して収集されるCEIPデータは、すべての地域のユーザーを含むように構成されています。ただし、Google Analyticsを介して収集されるCEIPデータは、欧州連合（EU）、欧州経済領域（EEA）、スイス、および英国（UK）に所在するユーザーを除外します。

この機能が有効になっていることを確認するには、最新バージョンに更新してください。

ユーザーと管理者はCEIPデータ収集を無効にできますか？

CEIPデータ収集は、以下の構成に従って、すべての管轄区域で完全に無効にできます。

バージョン2205以降、以下の手順に従ってCEIPデータの送信を停止できます（ただし、オペレーティングシステムとCitrix Workspaceアプリのバージョンの2つのデータ要素を除く）。

1. 通知領域からcitrix-workspace-appアイコンを右クリックします。
2. **Advanced Preferences**を選択します。 **Advanced Preferences**ダイアログが表示されます。
3. **Data Collection**を選択します。
4. Citrixに利用統計とデータを送信するかどうかを尋ねられたら、CEIPへの参加を無効にするには**No, Thanks**を選択します。
5. **Save**をクリックします。

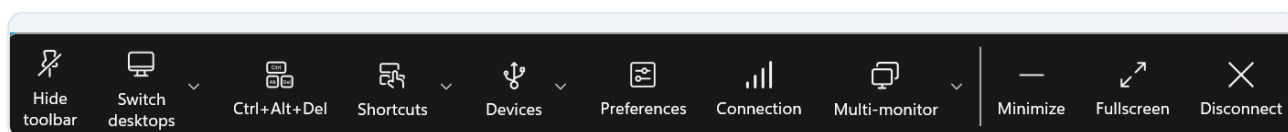
デスクトップの外観と動作を変更する

ファイルやデバイスへのアクセス方法を制御するには、Desktop Viewerツールバーのボタンを使用します。

仮想デスクトップは、公開された仮想デスクトップ、共有デスクトップ、または専用デスクトップのいずれかです。このアクセスシナリオでは、Desktop Viewerツールバーの機能により、仮想デスクトップをウィンドウで開き、ローカルデスクトップ内でそのデスクトップをパンおよびスクロールできます。

ツールバーのグリップボタンは、ウィンドウの上部、または（最大化されている場合は）画面の上部に表示されます。

ツールバーのグリップボタン  をクリックします。Desktop Viewerツールバーは次のように表示されます。



Desktop Viewerの詳細については、[Desktop Viewerツールバーセクション](#)を参照してください。また、製品ドキュメントの[Desktop Viewerセクション](#)も参照してください。

注：

Desktop Viewerツールバーが表示されない場合は、管理者に連絡してください。

ツールバーを画面上の別の位置に移動するには

ツールバーを移動して、他のウィンドウのコンテンツやコントロールを隠さないようにすることができます。

- ウィンドウの上部に表示されるツールバーのグリップをクリックし、左右に移動します。

ツールバーでは、次の操作を実行できます。

強化されたDesktop Viewerツールバーには、次のオプションがあります。

- **ツールバーの表示/非表示:** このボタンをクリックして、Desktop Viewerツールバーを表示または非表示にします。
- **デスクトップの切り替え:** このボタンをクリックすると、利用可能な開いているデスクトップが表示されます。アクセスしたいデスクトップをクリックして、別のデスクトップに切り替えることができます。開いているデスクトップが前面に表示されます。
- **Ctrl+Alt+Del:** このボタンをクリックすると、仮想デスクトップでタスクマネージャーが表示されます。
- **ショートカット:** このボタンをクリックすると、利用可能なショートカットが表示されます。利用可能なショートカットは次のとおりです。
 - **スタートメニュー:** クリックすると、仮想デスクトップのスタートメニューにアクセスできます。
 - **アプリの切り替え:** このボタンをクリックすると、利用可能な開いているアプリが表示されます。アクセスしたいアプリをクリックして、別のアプリに切り替えることができます。
 - **デバイス:** このボタンをクリックすると、接続されているデバイスにアクセスできます。
 - **設定:** このボタンをクリックすると、**設定**セクションのオプションにアクセスし、設定を編集できます。
 - **接続:** このボタンをクリックすると、接続のリアルタイム統計で接続強度を分析できます。
 - **マルチモニター:** このボタンをクリックすると、セッションを複数のモニターに拡張するためのさまざまなオプションに移動できます。
- **最小化:** 最小化ボタンをクリックすると、現在使用している仮想デスクトップセッションを最小化できます。

注:

以前のDesktop Viewerツールバーでは、**Home**オプションは同じモニター上のすべての仮想デスクトップセッションを最小化しました。

- **全画面表示または元に戻す:** 全画面表示ボタンをクリックすると、デスクトップセッションが全画面表示に拡大されます。**元に戻す**ボタンをクリックすると、ウィンドウモードに戻ります。以前のDesktop Viewerツールバーでは、**全画面表示または元に戻す**に対応するオプションは**全画面表示またはウィンドウ**と表示されていました。

- **切断 / サインアウト:** このボタンをクリックすると、仮想セッションからサインアウトまたは切断できます。

ツールバーを画面上でドラッグし、画面の任意の端にスナップできます。垂直レイアウトと水平レイアウトの両方をサポートしています。

ローカルファイルへのアクセスを制御するには

仮想デスクトップがローカルコンピューター上のファイルにアクセスする必要がある場合があります。アクセスを許可する範囲を制御できます。

1. ツールバーで、**【Preferences】** > **【File Access】** をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

オプション	説明
読み取りと書き込み	仮想デスクトップがローカルファイルへの読み取りと書き込みを許可します。
読み取り専用	仮想デスクトップがローカルファイルへの読み取りは許可しますが、書き込みは許可しません。
アクセスなし	仮想デスクトップがローカルファイルにアクセスすることを許可しません。
毎回確認	仮想デスクトップがローカルファイルにアクセスする必要があるたびにプロンプトを表示します。

2. **【OK】** をクリックします。

マイクまたはWebカメラをセットアップするには

仮想デスクトップがローカルのマイクまたはWebカメラにアクセスする方法を変更する場合は、この手順に従ってください。

1. ツールバーで、**【環境設定】** > **【接続】** をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

オプション	説明
自動的に接続	仮想デスクトップでマイクまたはWebカメラを使用できるようにします。
接続しない	仮想デスクトップでマイクまたはWebカメラを使用できません。
確認する	仮想デスクトップがマイクまたはWebカメラにアクセスする必要がある場合にプロンプトを表示します。

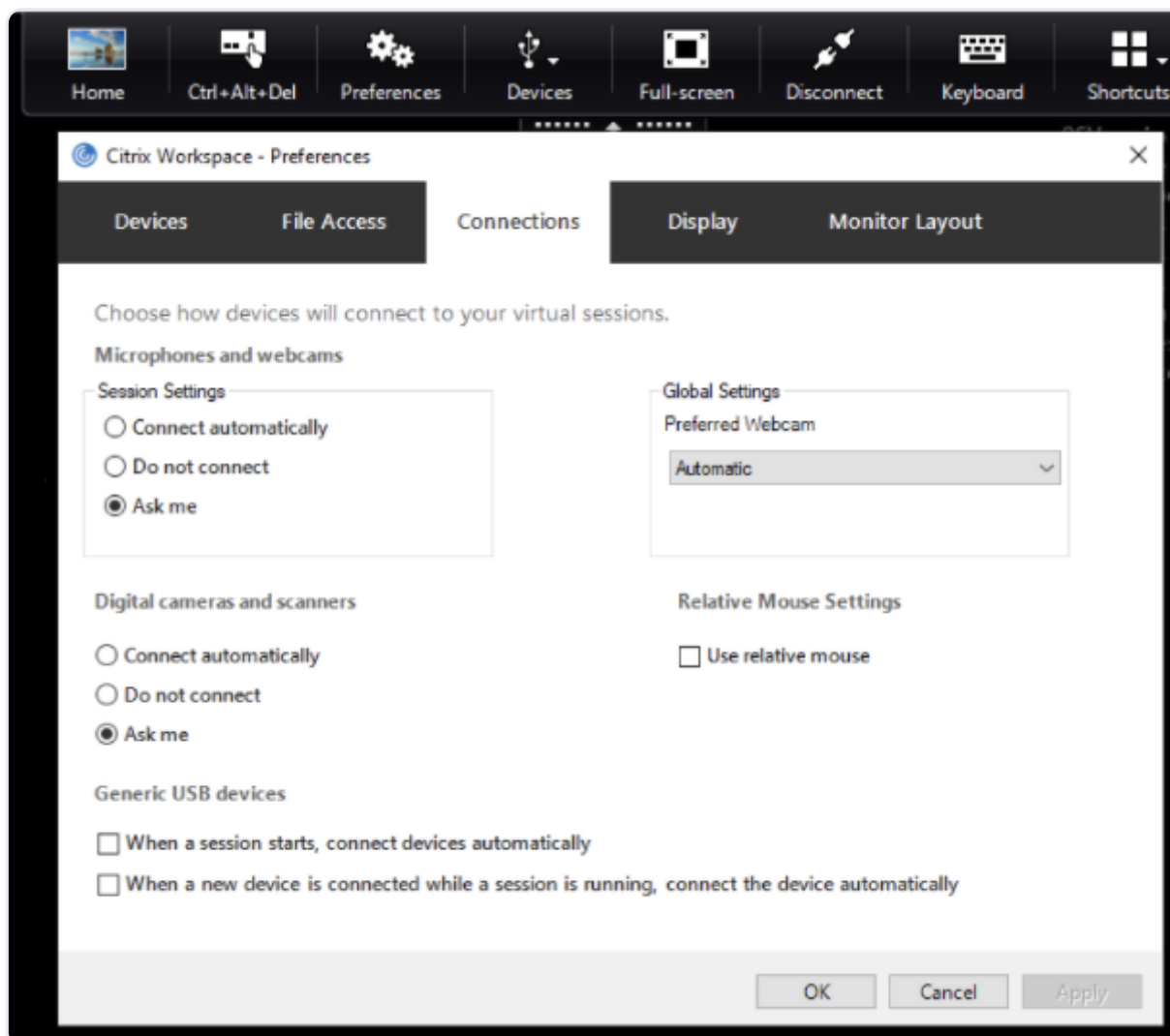
2. 【グローバル設定】 で、【優先Webカメラ】 を選択します。
3. 【OK】 をクリックします。

制限事項

- Delivery Controllerで**Windows Media Redirection**ポリシーが**無効**に設定されている場合でも、【優先Webカメラ】 ダイアログが表示されます。

USBデバイスの自動接続設定を変更する

citrix-workspace-appは、現在のデスクトップリソースに設定されている設定に基づいて、CONNECTアクションでタグ付けされたUSBデバイスを自動的に接続します。設定は、次の図に示すように、**Desktop viewer**ツールバーで変更できます。



ペインの下部にある2つのチェックボックスは、デバイスを自動的に接続するか、セッションで手動接続を待機するかを制御します。これらの設定は、デフォルトでは有効になっていません。汎用USBデバイスを自動的に接続する必要がある場合は、設定を変更できます。

注：

管理者は、対応するポリシーを展開することで、ユーザー設定を上書きできます。

Webカメラリダイレクトの背景ぼかし

Windows向けCitrix Workspaceアプリは、Webカメラリダイレクトの背景ぼかしをサポートするようになりました。この機能を有効にするには、**Preferences > Connections > Enable background blur**チェックボックスを選択します。

デジタルカメラまたはスキャナーを設定するには

仮想デスクトップがローカルマイクまたはWebカメラにアクセスする方法を変更する場合は、この手順に従ってください。

1. ツールバーで、**Preferences > Connections**をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

オプション	説明
自動的に接続	デジタルカメラまたはスキャナーを仮想デスクトップで使用できるようにします。
接続しない	仮想デスクトップでのデジタルカメラまたはスキャナーの使用を許可しません。
毎回確認する	仮想デスクトップがデジタルカメラまたはスキャナーにアクセスする必要がある場合に、プロンプトを表示します。

2. **OK** をクリックします。

マルチモニターのサポート

Windows向けCitrix Workspaceアプリでは、最大8台のモニターを使用できます。

マルチモニター構成の各モニターには、製造元によって設計された独自の解像度があります。セッション中にモニターの解像度や向きが異なる場合があります。

セッションは、次の2つの方法で複数のモニターにまたがることができます。

- フルスクリーンモード。セッション内に複数のモニターが表示され、アプリケーションはローカルの場合と同様にモニターにスナップします。

Citrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaS：Desktop Viewerウィンドウをモニターの任意の長方形のサブセットに表示するには、それらのモニターの任意の部分にわたってウィンドウのサイズを変更し、**【最大化】** をクリックします。

- ウィンドウモード。セッションには1つのモニターイメージが表示され、アプリケーションは個々のモニターにスナップしません。

デュアルモニターでCitrix Virtual Desktopsを使用する：

1. Desktop Viewerをクリックします。
2. **【元に戻す】** を選択します。

注：

ステップ2は、セッションが** [フルスクリーン] ** モードの場合にのみ適用されます。
【元に戻す】 モードの場合、**【元に戻す】** オプションは利用できません。古いDesktop Viewerツールバーでは、**【フルスクリーンまたは元に戻す】** に対応するオプションは** [フルスクリーンまたはウィンドウ] ** と表示されます。

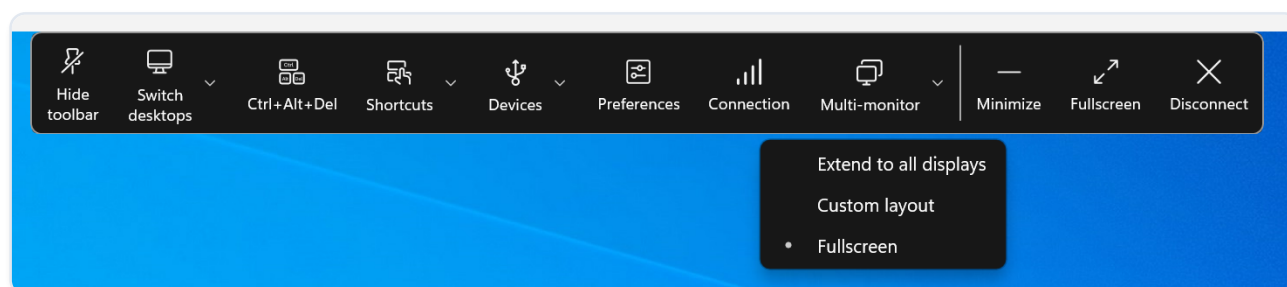
3. Citrix Virtual Desktopsの画面を2つのモニター間にドラッグします。画面の約半分が各モニターに表示されるようにします。
4. Citrix Virtual Desktopツールバーから、**【フルスクリーン】** を選択します。

画面が両方のモニターに拡張されます。

同様に、最大8台のモニターを接続することもできます。Citrix Virtual Desktopsの画面を、必要な数のモニター間でドラッグできます。画面が各モニターに表示されていることを確認してください。

マルチモニターレイアウトの選択

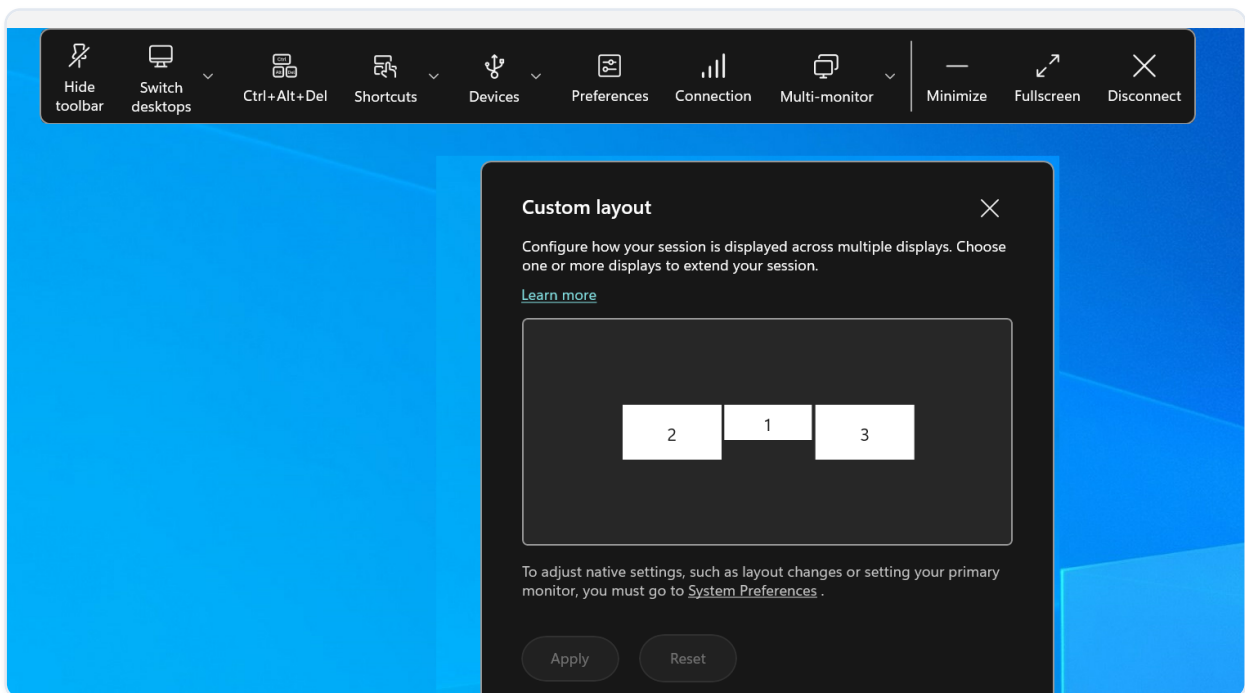
バージョン2503以降、マルチモニターセレクター (MMS) を使用すると、デスクトップセッションでのみ、シームレスセッションではなく、フルスクリーンモードで使用するディスプレイを選択できます。新しいマルチモニターボタンがツールバーに追加され、これは複数の画面が接続されている場合にのみ表示されます。



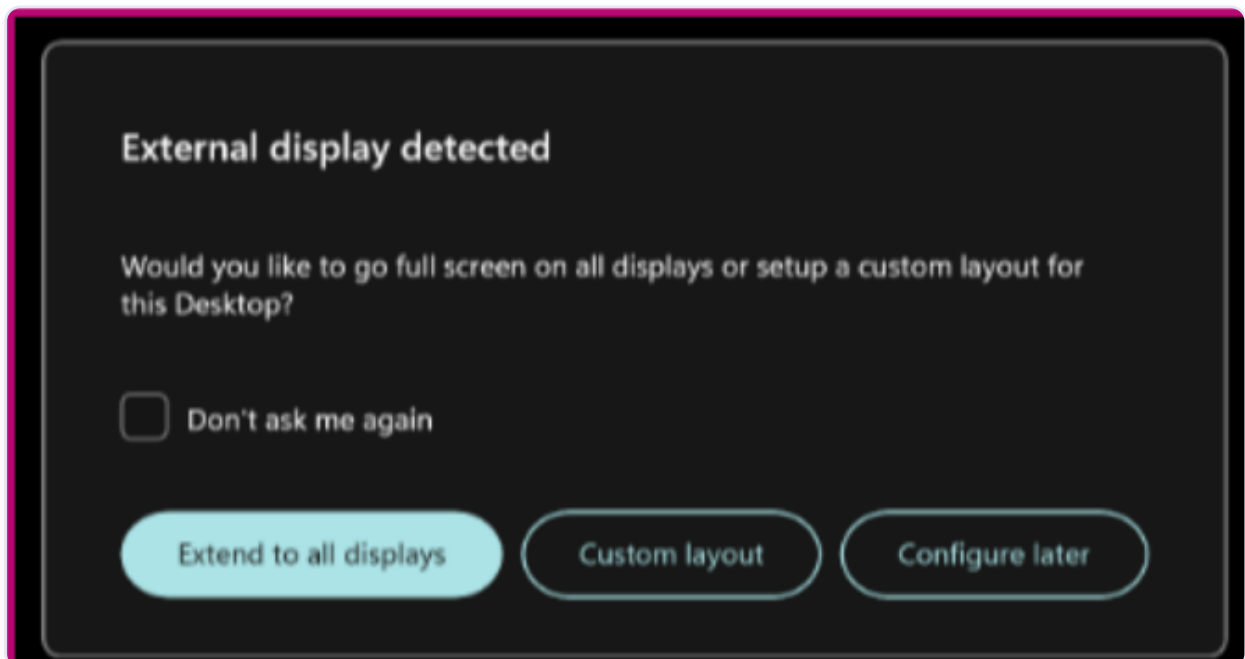
マルチモニターメニューオプション

ツールバーボタンには、フルスクリーンモードのデスクトップセッション用の3つのドロップダウンメニューオプションが含まれています。

- **すべてのディスプレイに拡張:** セッションは、接続されているすべての画面でフルスクリーンモードに切り替わります。
- **カスタムレイアウト:** このオプションは、Windowsシステムのレイアウトを表示するカスタムモニターセレクターを開きます。セレクター内の四角形をクリックして使用する画面を選択し、**適用**をクリックします。その後、セッションは選択した画面をフルスクリーンモードで使用します。



- フルスクリーン: セッションが現在アクティブになっているモニターで、セッションがフルスクリーンモードに切り替わります。例:
 - セッションが1台のモニターでアクティブな場合、そのモニターでフルスクリーンになります。
 - セッションが2台のモニターでアクティブな場合、それらの2台のモニターでフルスクリーンになります。



新しいモニターが接続されると、選択を行うための通知が表示されます。この通知をミュートするには、**設定を記憶する**をオンにできます。

複合USBデバイスリダイレクトを構成する

USBサポートにより、Citrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaS（旧Citrix Virtual Apps and Desktopsサービス）に接続した際に、幅広いUSBデバイスとの対話が可能になります。

リモート処理に利用できるUSBデバイスには、フラッシュドライブ、スマートフォン、PDA、プリンター、スキャナー、MP3プレーヤー、セキュリティデバイス、タブレットなどがあります。

仮想デスクトップでUSBデバイスを許可するかどうかを制御するには、ツールバーのDesktop Viewerの**基本設定**を使用します。

USBデバイスのアイソクロナス機能は、一般的な低遅延/高速LAN環境でサポートされています。これらのUSBデバイスには、Webカメラ、マイク、スピーカー、ヘッドセットが含まれます。

この種のサポートにより、これらのデバイスはMicrosoft Office CommunicatorやSkypeなどのパッケージと対話できます。

仮想アプリおよびデスクトップセッションで直接サポートされるデバイスの種類は次のとおりです。

- キーボード
- マウス
- スマートカード

注：

特殊なUSBデバイス（Bloombergキーボードや3Dマウスなど）をUSBサポートを使用するよう構成できます。Bloombergキーボードの構成については、Citrix製品ドキュメントの「[Bloombergキーボードの構成](#)」セクションを参照してください。

デフォルトでは、特定の種類のUSBデバイスはCitrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaSを介したリモート処理がサポートされていません。たとえば、内部USBによってシス

テムボードに接続されたNIC（ネットワークインターフェースカード）がある場合があります。このデバイスのリモート処理は適切ではありません。

デフォルトでは、仮想アプリおよびデスクトップセッションでの使用がサポートされていないUSBデバイスの種類は次のとおりです。

- Bluetooth Dongle
- 統合NIC
- USB Hub
- USB Graphics Adapter

Hubに接続されたUSBデバイスはリモート化できますが、Hub自体はリモート化できません。

Citrix Virtual Appsセッションでの使用について、以下の種類のUSBデバイスはデフォルトではサポートされていません。

- Bluetooth Dongle
- 統合NIC
- USB Hub
- USB Graphics Adapter
- オーディオデバイス
- マスストレージデバイス

仮想アプリおよびデスクトップセッションでは、分割されたUSBデバイスはDesktop Viewerの**Devices**の下に表示されます。また、**Preferences > Devices**から分割されたUSBデバイスを表示することもできます。

Citrix Virtual Appsセッションでは、分割されたUSBデバイスは**Connection Center**に表示されません。

Citrix Ready ワークスペースハブ

Citrix Ready Workspace Hub を使用すると、Citrix Casting が有効になり、ハブ上でデスクトップディスプレイを安全にミラーリングしたり、画面をセカンダリディスプレイとして拡張したりできます。

前提条件:

- Citrix Casting は、Microsoft Windows 10 バージョン 1607 以降または Windows Server 2016 でのみサポートされています。
- ハブを検出するには、デバイスで Bluetooth を有効にする必要があります。
- デバイスと Workspace Hub が同じ Wi-Fi ネットワークを使用していること。
- Citrix Casting は、インストール中に有効にした場合にのみ利用できます。詳細については、「[Citrix Casting](#)」を参照してください。

Citrix Casting を有効にする

Citrix Casting はデフォルトで無効になっています。Citrix Casting を有効にするには：

1. 通知領域の citrix-workspace-app アイコンを右クリックし、**【高度な設定】** を選択します。
2. **【Citrix Casting】** を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **はい** – citrix-workspace-app の起動時に Citrix Casting が起動することを示します。
 - **いいえ、起動時に Citrix Casting を起動しない** – citrix-workspace-app の起動時に Citrix Casting が起動しないことを示します。

注：

「いいえ」を選択しても、現在の画面キャストセッションは終了しません。変更は次のセッション起動時にのみ適用されます。

4. 変更を適用するには、**保存**をクリックします。

Citrix Casting通知ダイアログには、以下のオプションがあります。

1. 現在の画面キャストセッションが上部に表示されます。
2. 更新アイコン。
3. 現在の画面キャストセッションを停止するには、**切断**します。
4. ワークスペースハブをお気に入りに追加するための星アイコン。

ワークスペースハブデバイスを自動的に検出する

1. citrix-workspace-appにサインインし、デバイスでBluetoothを有効にします。
2. メニューバーのCitrix Castingアイコンを選択します。

利用可能なハブのリストが表示されます。

注：

リストは、ワークスペースハブビーコンパッケージのRSSI値によってソートされます。

3. 画面をキャストするワークスペースハブを選択し、以下のいずれかを選択します。
 - **ミラー** - プライマリ画面を複製し、接続されているワークスペースハブデバイスにディスプレイをキャストします。
 - **Extend** - ワークスペースハブデバイスの画面をセカンダリ画面として使用します。

ワークスペースハブデバイスを手動で検出する

ハブリストメニューにCitrix Readyワークスペースハブデバイスが見つからない場合は、ワークスペースハブのIPアドレスを追加して手動でアクセスします。ワークスペースハブを手動で追加するには：

1. Windowsで、citrix-workspace-appにサインインし、デバイスでBluetoothを有効にします。
2. メニューバーのCitrix Castingアイコンを右クリックします。
3. メニューで**管理**を選択します。

ハブの管理ウィンドウが表示されます。

4. **新規追加**をクリックして、ハブのIPアドレスを入力します。
5. デバイスの追加が成功すると、**ハブ名列**にハブのフレンドリ名が表示されます。この名前を使用して、**ハブリストメニュー**でハブを識別します。

ワークスペースハブデバイスを切断する

現在のセッションを切断し、Citrix Readyワークスペースハブを自動または手動で終了できます。

- 画面キャスティングセッションを自動的に切断するには、ノートPCを閉じます。
- 画面キャスティングセッションを手動で切断するには、
 - a. 通知領域の**Citrix Casting**アイコンを右クリックします。
 - b. **終了**を選択してハブを切断します。

注:

citrix-workspace-app を終了しても Citrix Casting は終了しません。ハブが適切に切断されているか確認してください。

セルフチェックリスト:

citrix-workspace-app が範囲内の利用可能なワークスペースハブを検出して通信できない場合は、セルフチェックの一環として、以下を実行してください。

1. citrix-workspace-app と Citrix Ready workspace hub が同じネットワークに接続されていること。
2. citrix-workspace-app が起動されているデバイスで Bluetooth が有効になっており、正常に動作していること。
3. citrix-workspace-app が起動されているデバイスが、Citrix Ready workspace hub の範囲内（10メートル以内、壁などの遮蔽物がないこと）にあること。
4. Citrix Ready workspace hub で**更新**をクリックし、ワークスペースハブへの再接続を試してください。
5. citrix-workspace-app でブラウザを起動し、`http://<hub_ip>:55555/device-details.xml` と入力してワークスペースハブのデバイス詳細が表示されるか確認してください。

既知の問題と制限事項

- デバイスが Citrix Ready workspace hub と同じネットワークに接続されていない限り、Citrix Casting は機能しません。
- ネットワークの問題がある場合、ワークスペースハブデバイスの表示に遅延が発生する可能性があります。

- 拡張を選択すると、Citrix Ready workspace app が起動されているプライマリ画面が複数回点滅します。
- 拡張モードでは、セカンダリディスプレイをプライマリディスプレイとして設定することはできません。
- デバイスの表示設定に変更があった場合、画面キャストセッションは自動的に切断されます。たとえば、画面解像度の変更、画面の向きの変更などです。
- 画面キャストセッション中に、citrix-workspace-appを実行しているデバイスがロック、スリープ、または休止状態になった場合、ログイン時にエラーが表示されます。
- 複数の画面キャストセッションはサポートされていません。
- Citrix Castingでサポートされる最大画面解像度は1920 x 1440です。
- Citrix Castingは、Citrix Ready workspace hubバージョン2.40.3839以降をサポートしています。それ以前のバージョンのWorkspace hubは検出されないか、キャストエラーを引き起こす可能性があります。
- この機能は、Windows (Store) 用Citrix Workspaceアプリではサポートされていません。
- Windows 10 Build 1607では、**Extend**モードのCitrix Castingが適切に配置されない場合があります。

シングルサインオン構成を検証するために設定チェッカーを使用する

設定チェッカーを使用してテストを実行し、シングルサインオンが適切に構成されていることを確認します。このテストは、シングルサインオン構成のさまざまなチェックポイントで実行され、結果が表示されます。

注:

詳細設定シートの全体または一部を非表示にできます。詳細設定オプションは、通知領域の citrix-workspace-app アイコンから利用できます。詳細については、Citrix製品ドキュメントの [詳細設定シートの非表示セクション](#)を参照してください。

1. 通知領域のcitrix-workspace-appを右クリックし、**詳細設定**を選択します。

詳細設定ウィンドウが表示されます。

2. **設定チェッカー**を選択します。

Citrix 設定チェッカーウィンドウが表示されます。

3. **選択**ペインから**SSONChecker**を選択します。
4. **実行**をクリックします。テストのステータスを表示する進行状況バーが表示されます。

設定チェッカーウィンドウには次の列があります。

1. **ステータス:** 特定のチェックポイントでのテスト結果を表示します。
 - 緑色のチェックマークは、特定のチェックポイントが適切に構成されていることを示します。
 - 青色の「I」は、チェックポイントに関する情報を示します。
 - 赤色の「X」は、特定のチェックポイントが適切に構成されていないことを示します。
2. **プロバイダー:** テストが実行されるモジュールの名前を表示します。この場合は、シングルサインオンです。

3. **スイート:** テストのカテゴリを指定します。たとえば、インストールです。
4. **テスト:** 実行される特定のテストの名前を指定します。
5. **詳細:** 合格か不合格かに関わらず、テストに関する追加情報を提供します。ユーザーは各チェックポイントと対応する結果に関する詳細情報を取得できます。

次のテストが実行されます。

- シングルサインオンでインストール済み。
- ログオン資格情報のキャプチャ。
- ネットワークプロバイダーの登録 - 「Citrix Single Sign-on」がネットワークプロバイダーのリストで最初に設定されている場合にのみ、緑色のチェックマークが表示されます。Citrix Single Sign-onがリストの他の場所に表示されている場合、ネットワークプロバイダーの登録に対するテスト結果は青色の「I」と追加情報とともに表示されます。
- シングルサインオンプロセスが実行中です。
- グループポリシー - デフォルトでは、このポリシーはクライアントで構成されています。
- セキュリティゾーンのインターネット設定 - インターネットオプションのセキュリティゾーンのリストにStore/XenApp Service URLを追加していることを確認してください。セキュリティゾーンがグループポリシーを使用して構成されている場合、変更を有効にし、テストの正しいステータスを表示するには、**詳細設定**ウィンドウを再度開く必要があります。
- StoreFrontの認証方法。

注:

Workspace for Webにアクセスしている場合、テスト結果は適用されません。

マルチストア構成では、認証方法テストは構成されているすべてのストアで実行されます。

注記:

テスト結果をレポートとして保存でき、レポートの既定の形式は.txtです。

制限事項:

Configuration Checkerには、Citrix Virtual Apps and Desktopsサーバー上のXMLサービスに送信される信頼要求の構成に関するチェックポイントは含まれていません。

Desktop Viewer にデバイスを表示する

Desktop Viewer は、セッションの上に表示されるツールバーです。Desktop Viewer の表示方法について詳しくは、「[デスクトップの外観と動作を変更する](#)」を参照してください。

Citrix Workspace アプリ for Windows は、コンピューターに接続されているデバイスを検出します。また、ホストされたデスクトップおよびアプリケーションで使用するデバイスを選択することもできます。

注:

Desktop Viewer はデフォルトで有効になっています。Desktop Viewer を表示できない場合は、管理者に問い合わせてください。

- **基本設定 > 接続** の設定を使用して、マイクやWebカメラなどのデバイスを仮想アプリおよびデスクトップセッションに接続するかどうかをカスタマイズできます。
- **デバイス リスト** には、**基本設定 > デバイス** でローカルマシンに接続されているデバイスが表示されます。
- デバイスを接続しても**デバイスリスト**に表示されない場合は、**更新** をクリックします。
- 接続されると、デバイスは **最適化済み**、**ポリシー制限**、または **汎用** として表示されます。

デバイス	説明
最適化済み	このデバイスにはCitrix仮想チャネルがあり、リモートセッションとローカルマシンの両方で同時に自動的に利用できます。最適化されたデバイスの 現在の接続列 には、デバイスがローカルマシンとリモートセッションの両方に接続されていることが示されます。 リダイレクト チェックボックスは選択されており、編集できません。 仮想チャネル列の切り替え ボタンを使用して、 最適化済み と 汎用 を切り替えることができます。たとえば、仮想チャネルがデ

デバイス	説明
	バイスの全機能をサポートしていない場合は、 汎用に切り替え を選択します。
汎用	このデバイスにはCitrix仮想チャネルがなく、ローカルマシンとリモートセッションで同時に使用することはできません。 リダイレクト チェックボックスを選択して、リモートセッションとローカルマシン間でデバイスの利用可能性を切り替えます。 現在の接続列 で現在の接続ステータスを確認できます。
ポリシー制限	管理者によって、この種類のデバイスを制限するポリシーが設定されています。たとえば、USBマウスやキーボードは、USBサポートなしでリモートセッションでその動作が自動的に処理されるため、通常はデフォルトでポリシーによって制限されます。ネットワークデバイスなどの他のデバイスは、セキュリティ上の理由から制限される場合があります。 ポリシー制限デバイス の 現在の接続列 には、 ローカルマシンのみ が表示されます。

デスクトップとアプリの検索

Windows向けCitrix Workspaceアプリのホームページから、仮想アプリとデスクトップにアクセスできます。これらのリソースには、すべてのデバイスからアクセスできます。

開始するには、通知領域にあるWindows向けCitrix Workspaceアプリのアイコンを右クリックし、**開く**をクリックします。デスクトップとアプリは、次のいずれかまたは複数の場所に配置することもできます。

- Windowsのスタートメニュー – Citrix Workspaceアプリから追加されたデスクトップとアプリは、**すべてのプログラム**の下にフォルダーにWindowsのスタートメニューにも追加されます。
- デスクトップ – 管理者がコンピューターのデスクトップにショートカットを提供する場合があります。ショートカットは、デスクトップ上のフォルダー内に配置されている場合があります。
- Webページ – 管理者がWebページでデスクトップとアプリへのリンクを提供する場合があります。ブラウザを開き、管理者が提供するURLを入力します。

汎用クライアントIME (Input Method Editors)

汎用クライアントIMEには、VDAバージョン7.13以降が必要です。

GUIを使用して汎用クライアントIMEを構成する

キーボードレイアウトの同期を有効にすることで、汎用クライアントIME機能を有効にします。

Windows向けCitrix Workspaceアプリでは、汎用クライアントIMEを使用するためのさまざまなオプションを構成できます。要件と使用状況に基づいて、これらのオプションのいずれかを選択できます。

1. アクティブなCitrix Virtual Appsセッションで、通知領域にあるcitrix-workspace-appアイコンを右クリックし、**Connection Center**を選択します。
2. **Preferences**を選択し、**Local IME**をクリックします。

さまざまなIMEモードをサポートするために、以下のオプションが利用可能です。

1. **Enable Server IME** – このオプションを選択すると、ローカルIMEが無効になります。サーバーで設定された言語のみを使用できます。
2. **Set Local IME to High Performance mode** – このオプションを選択すると、帯域幅を制限したローカルIMEを使用できます。このオプションは、候補ウィンドウの機能を制限します。
3. **Set Local IME to Best Experience mode** – このオプションを選択すると、最高のユーザーエクスペリエンスのためにローカルIMEを使用できます。このオプションは、高い帯域幅を消費します。デフォルトでは、汎用クライアントIMEが有効になっている場合、このオプションが選択されます。

設定の変更は、現在のセッションにのみ適用されます。

Citrix Enterprise Browser を介して安全な Web アプリまたは SaaS アプリを開く

citrix-workspace-app には、SaaS アプリを起動するための Citrix Enterprise Browser (旧称 Citrix Workspace Browser) が含まれています。

注:

- **workspace for web** では、Web アプリまたは SaaS アプリは、Citrix Enterprise Browser ではなく、クライアントに設定されているデフォルトのブラウザでのみ起動します。
- ICA セッションアプリと安全な Web アプリまたは SaaS アプリの間で、ユーザーエクスペリエンスが異なる場合があります。

Citrix Enterprise Browser は、次のような操作をサポートしています。

- ツールバー
- クリップボード
- 印刷
- ダウンロード
- 透かし

citrix-workspace-app におけるこれらの操作のサポートは、Citrix Secure Private Access で設定されたポリシー構成に基づいています。

アプリの起動

注:

- 管理者が Citrix Secure Private Access のポリシー構成でアプリを設定している場合、Web アプリまたは SaaS アプリを起動できます。
- ポリシー構成に加えられた変更は、WebまたはSaaSアプリのセッションを再起動した後に適用されます。

詳細については、Citrix製品ドキュメントの[Citrix Secure Private Access](#)セクションを参照してください。

WebまたはSaaSアプリを起動するには、次の手順を実行します。

WebまたはSaaSの資格があるCitrix Cloud Store URLを使用して、citrix-workspace-appを構成します。

1. ドメインユーザーの資格情報でcitrix-workspace-appにログオンします。構成済みのWebまたはSaaSアプリが表示されます。
2. アプリのアイコンをクリックして起動します。

アプリが起動します。シングルサインオンが有効になっている場合、アプリに自動的にサインインされます。

Connection Center を介してセッションを管理する

Citrix **Connection Center** は、citrix-workspace-app から確立されたすべてのアクティブな接続を表示します。

Connection Center を開くには、通知領域の citrix-workspace-app アイコンを右クリックし、**Connection Center** をクリックします。

応答しない Citrix Virtual Apps セッションを終了するには

Connection Center でアプリを選択し、**Terminate** をクリックします。

すべてのアクティブな Citrix Virtual Apps セッションを一度に閉じるには

Connection Center でサーバーを選択し、**Log Off** をクリックします。

Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (旧 Citrix Virtual Apps and Desktops service) の表示を変更するには

シームレスモードと全画面表示モードを切り替えることができます。

- **シームレスモード**: Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS はセッションウィンドウ内に含まれません。Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS は、独自のサイズ変更可能なウィンドウで表示されます。アプリとローカルデスクトップを切り替えることができます。
- **全画面表示モード**: アプリはデスクトップウィンドウに配置されます。

全画面表示モードに切り替えるには: **Connection Center** からサーバーを選択します。 **Full Screen** をクリックし、 **OK** をクリックします。

シームレスモードに戻るには: **Shift + F2** を押します。

アプリの更新

管理者が提供する最新のアプリとリソースがあることを確認するには、アプリを更新します。

アプリを更新するには、citrix-workspace-app 内の **アカウント** アイコンをクリックし、次に **更新** をクリックします。

更新(/en-us/citrix-workspace-app/windows/media/refresh.png)

コンピューターからログオフするか、citrix-workspace-app を終了しても、アプリはアクティブなままです。次回、任意のデバイスから citrix-workspace-app を起動したときに、これらのアクティブなアプリに再接続できます。詳細については、「[GUI を使用してショートカットと再接続オプションを構成する](#)」を参照してください。

再接続するには、アクティブなアプリのアイコンをクリックします。

地域設定

citrix-workspace-app は、さまざまな言語、およびそれらの言語を使用する国や地域向けの時刻と日付の形式に対応しています。

地域設定では、時刻、日付、および数値の形式をカスタマイズできます。

注記:

このオプションは、クラウド展開でのみ利用可能です。

カスタム形式を適用するには、次の手順を実行します。

1. citrix-workspace-app のホームページで、**アカウント**をクリックし、**アカウント設定**を選択します。
2. **アカウント設定**ダイアログで、**地域設定**を選択します。

地域設定ウィンドウが表示されます。

The screenshot shows the 'Regional Settings' window. On the left, a sidebar lists 'Edit Profile', 'Regional Settings' (highlighted), 'Files Settings', 'Tools', and 'Integrations'. The main content area is titled 'Regional Settings' and contains three settings, each with a dropdown menu and a red asterisk indicating it is required:

- Time Format: ***: The dropdown shows '12-hour (9:43 AM)'.
- Date Format: ***: The dropdown shows 'MM/dd/yyyy'.
- Number Format: ***: The dropdown shows '1,000.00'.

At the bottom of the main area is a blue 'Save' button.

3. 必要な**時刻形式**、**日付形式**、および**数値形式**を選択します。
4. **保存**をクリックします。

相対マウス

相対マウス機能は、マウスの位置を絶対的ではなく相対的に解釈するオプションを提供します。絶対的なマウス入力ではなく相対的なマウス入力を要求するアプリには、この機能が必要です。

注:

この機能は、公開された仮想アプリおよびデスクトップセッションでのみ適用できます。

相対マウスの有効化

ショートカットキーを使用するか、Desktop Viewerから相対マウスを有効にできます。

相対マウスのショートカットキーを使用した相対マウスの有効化

Ctrl+F12キーを使用して相対マウスをオンまたはオフにできます。ただし、このショートカットキーを別のショートカットに変更したり、ショートカットを無効にしたりできます。詳細については、「[キーボードショートカット](#)」を参照してください。

Desktop Viewerからの相対マウスの有効化

1. Citrix Workspaceアプリ for Windowsにログオンします。
2. 公開された仮想アプリおよびデスクトップセッションを起動します。
3. Desktop Viewerツールバーから、**Preferences**を選択します。**citrix-workspace-app - Preferences**ウィンドウが表示されます。
4. **Connections**を選択し、**Relative Mouse Settings**の下にある**Use relative mouse**を選択します。
5. **Apply**と**OK**をクリックします。

注:

相対マウスはセッションごとの機能です。切断されたセッションに再接続しても、この機能は保持されません。公開されたCitrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaS（旧Citrix

Virtual Apps and Desktopsサービス）に接続または再接続するたびに、この機能を再度有効にしてください。

GUIを使用してショートカットと再接続オプションを構成する

注：

ショートカットは、サブスクライブ済みのCitrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaS（旧Citrix Virtual Apps and Desktopsサービス）に対してのみ設定してください。

1. Windows向けCitrix Workspaceアプリにサインインします。
2. 通知領域にあるcitrix-workspace-appアイコンを右クリックし、** [高度な設定] **をクリックします。

** [高度な設定] **ウィンドウが表示されます。

3. ** [ショートカットと再接続] **をクリックします。

注：

デフォルトでは、** [スタートメニューにアプリケーションを表示] **オプションが選択されています。

4. ** [スタートメニューフォルダー] **名を入力します。

注：

このオプションは、サブスクライブされているすべてのアプリをスタートメニューの指定されたフォルダーに移動します。スタートメニューの新規または既存のフォルダーにアプリを追加できます。このオプションは、既存のアプリと新しく追加されたアプリの両方を指定されたフォルダーに追加します。

5. ** [デスクトップオプション] ペインから [デスクトップにアプリケーションを表示] **を選択し、デスクトップフォルダー名を入力します。

注：

このオプションを選択すると、サブスクライブされているすべてのアプリがローカルデスクトップ上の指定されたフォルダーに移動されます。

6. 「**Category Options**」 から「**Enable different path for Start Menu and Desktop**」を選択し、「**OK**」をクリックします。このオプションを選択すると、アプリケーションプロパティサーバーで定義されているアプリのショートカットとカテゴリフォルダーが作成されます。
例：ITアプリ、財務アプリ

「注：」：

デフォルトでは、「**Category as Start Menu Path**」オプションが選択されています。

- Windowsのスタートメニューに、アプリケーションプロパティサーバーで定義されているサブスクライブ済みアプリとそのカテゴリフォルダーを表示するには、「**Category as Start Menu Path**」を選択します。
- ローカルデスクトップに、アプリケーションプロパティサーバーで定義されているサブスクライブ済みアプリとそのカテゴリフォルダーを表示するには、「**Category as Desktop Path**」を選択します。

詳細設定ダイアログを使用して再接続オプションを構成する

「注：」：

citrix-workspace-appアイコンから利用できる詳細設定シート全体またはその一部を非表示にできます。詳しくは、Citrix製品ドキュメントの「[詳細設定シートを非表示にする](#)」セクションを参照してください。

デフォルトでは、「**Reconnect Options**」は、切断されているCitrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaSと、現在別のクライアントデバイスで実行されているすべてのものを開きます。「**Reconnect Options**」を構成して、以前に切断したCitrix Virtual Apps and DesktopsおよびCitrix DaaSのみに再接続できます。

1. Citrix Workspaceアプリ for Windowsにログインします。
2. 通知領域のcitrix-workspace-appアイコンを右クリックし、「**Advanced Preferences**」をクリックします。「Advanced Preferences」ウィンドウが表示されます。
3. 「**Shortcuts and Reconnect**」をクリックします。
4. 「**Reconnect Options**」をクリックします。
5. いつでもすべてのデスクトップまたはアプリに再接続するには、「**Enable for Workspace Control Support**」オプションを選択します。
 - アクティブなセッションと切断されたセッションの両方に再接続するには、「**Reconnect to all active and disconnected sessions**」を選択します。
 - 「**切断されたセッションのみに再接続**」を選択すると、切断されたセッションにのみ再接続します。

「注：」：

「サポートされている再接続モード」は、GPOで設定された値を取ります。

6. 「**OK**」をクリックします。

Windows向けCitrix Workspaceアプリのアンインストール

Citrix Workspaceアプリ for Windowsは、次の手順でコントロールパネルからアンインストールできます。

1. タスクバーの検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、結果から選択します。
2. プログラム > プログラムと機能を選択します。
3. **Citrix Workspace <version number> **を右クリックし、アンインストールを選択します。その後、画面の指示に従います。

注:

Citrix Workspaceアプリ for Windowsのインストールを続行する前に、Citrix HDX RTMEパッケージをアンインストールするよう求めるプロンプトが表示されます。**OK**をクリックしてアンインストールを続行します。

Citrix Workspaceアプリ for Windowsは、コマンドラインインターフェイスを使用してアンインストールすることもできます。詳しくは、[アンインストールセクション](#)を参照してください。

インターネットに接続していないときにアプリを使用する

アプリを初めて開くには、インターネットに接続している必要があります。Windows向けCitrix Workspaceアプリは、インターネットに接続していないときでもアプリを実行できるように、一部のアプリをデバイスにインストールします。このインストールには数分かかる場合があります。

注:

オフラインアクセスは、すべてのユーザーまたはアプリで利用できるわけではありません。管理者は、インターネットへの接続が必要になるまでにアプリをオフラインで使用できる期間を決定します。

アプリケーションカテゴリの表示

アプリケーションカテゴリを使用すると、ユーザーはCitrix Workspaceで特定のカテゴリの下にあるアプリケーションを表示できます。

アプリケーションカテゴリを表示するには、citrix-workspace-appのホームページで **アプリ > すべてのアプリ** をクリックします。

アプリケーションカテゴリは、**カテゴリ** セクションの下に表示されます。

サブカテゴリは、カテゴリ内のフォルダーとして表示されます。画面上部に表示されるフォルダーパスを使用して、サブカテゴリに移動します。

仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上

改善されたアプリとデスクトップの起動エクスペリエンスは、より情報量が多く、モダンで、Windows向けCitrix Workspaceアプリでユーザーフレンドリーなエクスペリエンスを提供します。これにより、起動ステータスに関するタイムリーで関連性の高い情報でユーザーの関心を維持できます。通知は画面の右下隅に表示されます。

Citrix Virtual Apps and Desktopsの新しい起動(</en-us/citrix-workspace-app/windows/media/cvad-launch-exp.gif>)

ユーザーは、単なるスピナーではなく、起動の進行状況に関する意味のある通知を表示できます。起動が進行中にユーザーがブラウザを閉じようとする、警告メッセージが表示されます。

Citrix Workspaceの更新を構成する

「詳細設定」オプションを使用して、「**Citrix Workspaceの更新**」設定を上書きできます。この構成はユーザーごとに適用され、設定は現在のユーザーにのみ適用されます。

デバイスにインストールされているcitrix-workspace-appの現在のバージョンを確認するには、次の手順を実行します。

1. 通知領域のcitrix-workspace-appアイコンを右クリックします。
2. 「**詳細設定**」を選択します。

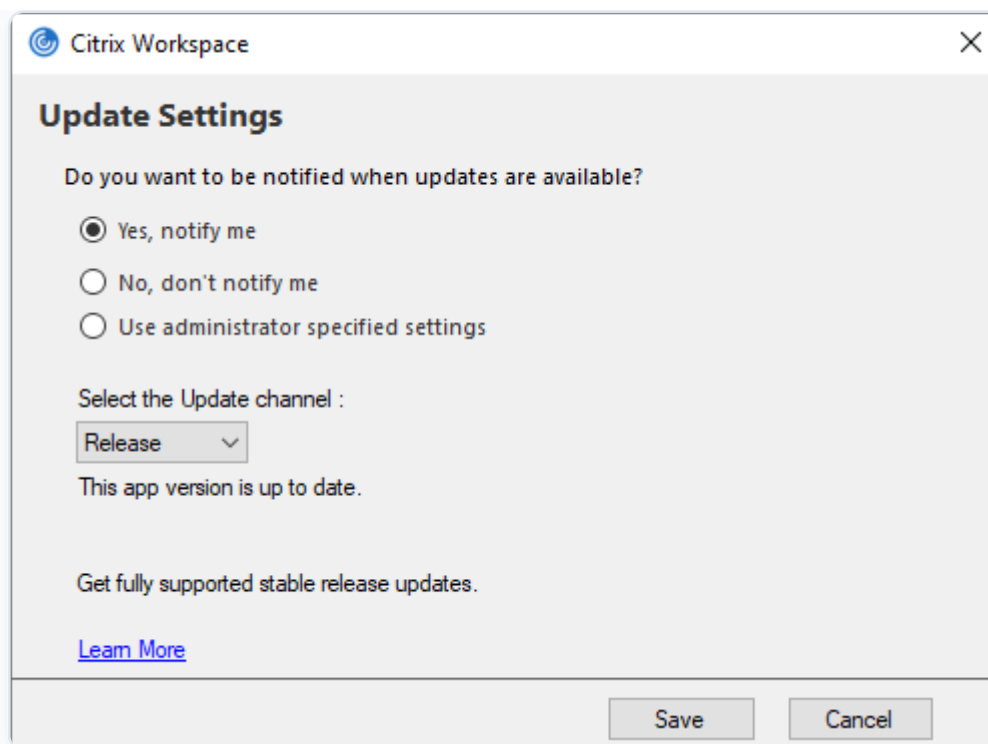
citrix-workspace-appのバージョンが「**バージョン情報**」セクションに表示されます。

Citrix Workspaceの更新を構成するには：

1. 通知領域のcitrix-workspace-appアイコンを右クリックします。
2. 「**詳細設定**」を選択し、「**Citrix Workspaceの更新**」をクリックします。

注：

- 仮想マシン内で**Citrix Workspace**を実行している場合、「**詳細設定**」に「**Citrix Workspaceの更新**」オプションが表示されないことがあります。仮想マシンでの自動更新を許可するには、「[VDAでのCitrix Workspaceアプリの自動更新のサポート](#)」を参照してください。
- citrix-workspace-appアイコンから詳細設定シート全体または一部を非表示にできません。詳しくは、Citrix製品ドキュメントの「[詳細設定シートの非表示](#)」セクションを参照してください。



3. 次のいずれかのオプションを選択します。

- はい、通知する - citrix-workspace-appの更新が利用可能になったときに通知されます。
- いいえ、通知しない - citrix-workspace-app のアップデートが利用可能になっても通知されません。手動でアップデートを確認してください。
- 管理者指定の設定を使用 - StoreFront サーバーで構成された設定を使用します。

注：

- **はい、通知する** および **いいえ、通知しない** オプションは、citrix-workspace-app 2207 より前のバージョンにのみ適用されます。2207 以降のバージョンでは、citrix-workspace-app のアップデートは自動で行われるため、アップデートが利用可能になっても通知されません。
- citrix-workspace-app が最新の場合、**Citrix Workspace** ダイアログボックスに次のメッセージが表示されます。

このアプリのバージョンは最新です。

4. **保存** をクリックします。

トラブルシューティング

citrix-workspace-app 2309バージョン以降、ユーザーエクスペリエンスを向上させ、トラブルシューティングを容易に進めるために、トラブルシューティングオプションが導入されました。画面右下にあるシステムトレイのcitrix-workspace-appアイコンを右クリックし、トラブルシューティングを選択してアクセスできます。

トラブルシューティングで利用できるオプションは次のとおりです。

- フィードバックを送信
- ログを収集
- 構成を確認
- アプリデータをリセット
- ヘルプ

	Open
	Sign Out
	Connection Center
	Open Citrix Enterprise Browser
	Advanced Preferences
	Check for Updates
Send Feedback	Troubleshooting >
Collect Logs	Exit
Check Configuration	
Reset App Data	
Help	

citrix-workspace-appに関するフィードバックを送信

フィードバックを送信オプションを使用すると、citrix-workspace-appの使用中に発生する可能性のある問題についてCitrixに通知できます。また、citrix-workspace-appのエクスペリエンスを向上させるための提案を送信することもできます。

次の手順でフィードバックを送信できます。

1. 通知領域にあるcitrix-workspace-appアイコンを右クリックし、**トラブルシューティング > フィードバックを送信**を選択します。フィードバックを送信画面が表示されます。

 Send Feedback ×

Title*

Tell us more*

Include details such as:

- What results you expected
- What results you got
- Steps to recreate the issue

 The log file and attachment file size must not exceed 20 MB

Logs
We recommend you to click "Capture my issue" to capture detailed logs.

Attachments
For example, screenshots or screen recordings of the issue.

No file chosen

Your feedback will be used to improve Citrix Workspace app. [Learn more](#)

2. 問題のタイトルを入力します。
3. 「詳細を教えてください」フィールドに問題の詳細を追加します。
4. 「問題のキャプチャ」をクリックします。「ログ収集」画面が表示されます。

ログ収集(/en-us/citrix-workspace-app/windows/media/log_collections.png)

- a. 「ログ収集を開始」をクリックし、最新のログを収集するために問題を再現します。
- b. 問題が再現されたら、「ログ収集を停止」をクリックします。

または、

問題を再現できない場合は、「既存のログを収集」をクリックします。

- c. 問題が再現されたら、「ログ収集を停止」をクリックします。
5. 「問題のキャプチャ」の横にログファイルが表示されていることを確認します。
 6. 「ファイルを選択」をクリックし、スクリーンショットや画面録画など、問題を示す添付ファイルを追加します。ログファイルを含むすべての添付ファイルの最大ファイルサイズは20 MBです。
 7. 「送信」をクリックします。「フィードバックレポート」画面が表示されます。

フィードバックレポート(/en-us/citrix-workspace-app/windows/media/feedback-report.png)

.zipファイルには、ログファイル、テキストファイルとしての問題の説明、および添付ファイルが含まれています。

8. Citrixにフィードバックレポートを送信するには、以下のオプションを使用できます。

- システムで既定のメールアプリを使用するには、「OK」をクリックします。

または、

- 提供されたメールIDにレポートを手動で送信します。

注意:

.zipファイルがメールに添付されていることを確認してください。

fix

This is the content for the sample heading topic. It is hidden from the main table of contents but remains accessible via links.